

第4回 清瀬市長期総合計画策定審議会

1 開催日時

令和7年3月28日（金）18時00分から20時00分まで

2 場所

清瀬市役所3階 庁議室

3 会議内容

（1）開会

（2）第3回会議の会議録確定

委員の総意により、資料1のとおり確定した。

（3）基本理念について

事務局から資料2について説明し、以下のとおり各委員から意見があった。

- ア 「しあわせはここにある」は清瀬市のブランドメッセージだということで、正式に発表しているものなのかという戸惑いはあるが、個人的には良い言葉だと思う。この言葉から「しあわせは清瀬にある」と誘導できる。また、「希望」を「笑顔」に変えれば、スッキリするような気がする。「清瀬」を漢字にするかひらがなにするかについては、漢字が好きだが、漢字にすると重いのでひらがなにした方が良いかもしれない。
- イ 「希望」は抽象的で、具体的なものがなかなか思い浮かばない。子どもも「笑顔」の方がイメージしやすい。「清瀬」については、ひらがなの方が柔らかくて良いが、全部ひらがなになってしまうと読みづらいので、バランスを見て決めた方が良いと思う。案②は、しあわせはここにあるを入ると長くなる。
- ウ 清瀬は漢字の方が良いと思う。清らかな自然、柳瀬川汚染されていたが今はかなり綺麗になってきている。片栗も桜もたくさんある。ひらがなにすると清瀬のせせらぎのある清瀬がイメージしにくい。ひらがなは柔らかいイメージにはなるが、清瀬は漢字にして、あとはひらがなにしてバランスを考えてほしい。①か②だったらどちらでも良いが、①が良い
- エ ②が良いと思う。市民と共に作り上げた計画とあり、行政に留まらずに地域全体で策定したとあるので、「共に」というワードは入っていて欲しい市民と協働で作ったことを第3次の基本理念は短かったので、「しあわせはここにある」を入れると長い気がするので、「しあわせはここにある」は除いた②にしてほしい
- オ ①でも②でも良いどちらかというと①が良い。しあわせはここにあるのここが「笑顔」と「みどり」に繋がって良い。②の場合は「しあわせはここにある」が無い方が良い。
- カ ②が良い。「ここにある 共に未来をひらき 笑顔とみどりがあふれるまち 清瀬」にしたい。

- キ ②が良い。しあわせはここにあるは長いので除きたい。また、市民も意見を言っているのだと捉えられるので「共に」を入れたい。希望は、みんなが同じ希望をもっているわけではないが、笑顔はみんなが共通して想像できるので「笑顔」が良い。「清瀬」は漢字が良い。
- ク 清瀬について、東京都でも珍しい名前だと思う。清瀬市には様々な課題がある中で将来を考えたときに、「ともに未来を考えていこうよ」と呼びかけているような②が良いと思った。
- ケ ②が良い。①は内容がありきたりだと思った。①になった場合は、「しあわせはここにある」はあった方が良い。②は「ともに未来をひらき」と具体的な言葉が入っていると思ったので②が良いと思った。
- コ ②が良い。参画とか協働が入っている中で、「ともに」は良いと思う。「ともに」という言葉が私たちが指しているのかについては少し疑問が残るが、②がいい。
- サ ②が良い。「しあわせはここにある」という意見を入れた方がという意見あるが「しあわせは清瀬にある 共に未来をひらき 希望とみどりがあふれるまち」とした方が良いのではないかなと思う
- シ 前回の議事録で「清瀬市に住んでいると堂々と言いたい」という意見があったが、②の方がそれを実現できると思った。清瀬は漢字で良いと思う。
- ス ①と②が甲乙つけがたい。ファーストインプレッションで①がシンプルで良いと思った。②は「共に」が入っていて良いと思う。「希望」より「笑顔」「きよせ」より「清瀬」が良いと思う。
- セ どちらも良いと思う。「共に未来をひらき 笑顔とみどりがあふれるまち しあわせは清瀬にある」
- ソ どちらも良いと思うが②の方が過不足ないと感じる。個人の幸せ、家族の幸せ、企業の幸せ、地域の幸せそれぞれが関連する要素が含まれていて良いと思った。
- タ ②が良い。「共に」という協働を表す言葉は今後絶対に必要だと思うから。
- チ 長くなることを避け、漢字とひらがなのバランスを考えると②が良いと思った。また、「清瀬」は漢字の方が最後が締まるので、「共に未来をひらき 笑顔とみどりがあふれるまち 清瀬」がしっくりくるのではないかなと思う。
- ツ ②は長いが、「しあわせはここにある」のあとに改行を入れたら良いのではないかなと思う。
- 会長 委員の皆様の意見を集約すると、体制は②で、「しあわせはここにある」は除くか、入れる場合はアレンジをし、「希望」は「笑顔」にして「きよせ」は「漢字」にするという意見が多かった。

(4) 将来像及び基本目標について

事務局から資料3を提示し、以下のとおり各委員から意見があり、質問があった場合は事務局が回答した。

- 会長 将来像の「きよせ」について、基本理念で漢字にしているが、将来像はひらがなで良いかという点、基本理念の「共に」が将来像ではひらがなになっている点な

どを含めて自由にご意見いただきたい。

テ 基本理念では漢字で「共に」となっていて、将来像ではひらがなで「ともに」となっている点について、漢字とひらがなでは意味が変わる。ひらがなにした場合の意味が合わないのではないかと思いますので、事務局でも調べた方が良く思う。

ト 基本目標で「協働によるまちづくりの推進」の「協働」はなぜこの漢字を使っているのか。施策の内容を考えると「協働」の漢字は合っていない気がする。

事務局 「協働」の辞書的な意味で考えると、「市民と市、または市民同士でそれぞれが役割をもって互いに尊重しながら責任をもって協力し合うこと」というような定義付けになっているので、「ただ一緒にやっ払いこう」ということではなく、お互いに尊重して責任をもって協力するという意味合いで使用している。また、本市の組織の中に「市民協働課」という課があるが、同じく「協働」を使用している。

ナ 将来像「誰もが成長できるきよせ」に含まれる施策は子育て世代や子どもに関連することが多いが「誰もが」という言葉を使っているのは適切なのか。

事務局 施策の内容に子どもに関連することが多くあるが、子どもはもちろん、大人も成長できる場があることと、子育て支援は、子どもを育てる大人が対象となるので子どもから大人まで含めて「誰もが」という言葉を使用している。

ニ 「誰もが成長できるきよせ」について、施策に「生涯学習・文化・芸術・スポーツの支援」があるから、「誰もが」としているのかもしれないが、それ以外全て子どもに関することなので、子どもを主語にした将来像の方が良いのではないかと思います。「生涯学習・文化・芸術・スポーツの支援」は、「活力が湧き出るきよせ」に入っても良いのではないかと思います。また、施策に「社会保険の安定的運営」と「介護保険の安定的運営」とあるが、「保険」という枠組みで言うと、社会保険の中に介護保険を含んで良いのではないかと思います。介護保険を「高齢」の枠組みに入れるのであれば、「高齢者等の支援」に含むことも考えられるが、「保険」という位置づけで「社会保険の安定的運営」に含んでも良いと思う。

事務局 社会保険を広義の意味で捉えるのであれば、介護保険を含めても良いと思うので、次回以降基本計画を策定する段階で改めてご意見いただきたい。

ヌ 将来像の作り方については工夫されており、良い観点だと思う。ただ、「誰もが成長できるきよせ」については例えば「大人も子どもも成長できるきよせ」などにしても良いと思う。また、「ともに支え合い自分らしく認め合えるきよせ」については施策に福祉分野とジェンダー平等社会分野の要素を考慮しての文言だと思うが、もう少し工夫して頭にスムーズに入ってくるようなものすると良いと思う。

ネ 将来像1になるのか2になるのか分からないが、「誰もが人として尊重される」という言葉を使いたい。

ノ こどもまんなか社会にちなんで、こども大綱を作った。その中で「権利と尊厳」について記してあるが、「権利」は「サービスがあるから権利がある」と置き換えられがちだが、サービスがあってもなくても権利はあるということが尊厳なのだという事になっている。先の意見にあったような「誰もが人として尊重される」という考え方は重要で、そのような清瀬であってほしいと思う。

ハ 「ともに支え合い自分らしく認め合えるきよせ」について「ともに支え合い個性を認め合えるきよせ」の方が分かりやすいと思う。

ヒ 例えば、現行施策 321 は『「生きる力」「考える力」を育む学校教育』と具体的だが、新施策では「学校教育の推進」と抽象的な表現になっている。現行施策が達成できたのか達成できなかったのかを踏まえて、具体的に何をしていくのか施策でわかると良いと思う。また、横断プロジェクトについては、施策に優先順位をつけて、継続していくもの、力を入れていくもの等に区別して示した方が良いと思う。

事務局 新施策については、これから検討段階に入っていくので、検討しやすいように試案として提示している。基本計画を検討いただく際に改めてご意見いただければと思う。

フ 将来像や基本目標の順番を検討してはどうか。先にも意見があったが、優先順位に合わせて順番を変えることで、市が注力してやりたいことが見えてくるのではないかと思う。

ヘ 資料 3 について、会議を重ねるたびに良くなってきているように思う。縦割りではなく横断的にやっていくものだと思うので、将来像のところを罫線を取ったような表にしても良いのではないかと思う。第 4 次長総では人権の問題と郷土文化の継承が大きな枠組みになっていたが、それらがどうなったのかを示した方が良い。また、横断プロジェクトについて、今までは少しずつ点が付いていたが、全てに横断する形となっている。これは横断プロジェクトと言っているのか疑問が残る。プロジェクトの内容が問題だと思うので、それがわかるような説明が図の作り方が必要なのではないかと思う。

事務局 まず、横断プロジェクトについては、先ほど委員の方からの意見にもあったが部ごと課ごとで縦割りの体制ではなく、横断的に取り組むという考え方を表現するためにこのような表記としている。現状分かりづらいものとなっているが、成果物として仕上がったときには、冒頭部分に「人口減少」「DX」「GX」「レジリエンス」と横断プロジェクトの説明が入るような形になると思う。さらに、「人権の問題」と「郷土文化の継承」については、将来像と基本目標に入れるというのはご意見としていただきたいが、市として何も考えていないというわけではなく、施策の中には当然ある事業であるので、次回からの基本計画検討段階においても改めてご意見いただければと思っている。

会長 今回は基本構想について検討いただいております、基本理念、将来像、基本目標 3 つで基本構想であり、横断プロジェクトは基本計画の方に入る。

ホ 将来像「誰もが成長できるきよせ」について、子どもから大人までという意味で「誰もが」という言葉を使っていることはわかるが、別の表現の方がカラーを出せると思う。また、この表現だと「今は成長できていない」というような印象を与えかねないので、「地域の中で育ちあう」など、「将来に向けてもう少しこうありたい」というようなことが伝わる言葉になると良いと思う。そのようにすれば 4 つの柱のような将来像をイメージしやすくなると思う。

- マ 将来像「誰もが成長できるきよせ」の中に含まれる施策は多くが子どもに関する
ことなので、将来像には「子ども」という言葉が入ると良いと思う。
- ミ 将来像の順番を工夫するのが良いと思う。例えば、今世の中の的に子どもが大事と
いう風になっているので「誰もが成長できるきよせ」を先に持ってきても良いの
ではないかと思う。そうすることで、安心のソフト面である「ともに支え合い自
分らしく認め合えるきよせ」とハード面である「安全・安心・快適に暮らせるき
よせ」が並ぶ形となり、分かりやすくなると思う。
- ム 4次長総では将来像3に「子どもたちを健やかに育むまち」と「子ども」という
言葉が使われている。5次長総においても、「誰もが成長できるきよせ」のところ
に「子ども」という言葉が使われて欲しい。第4次のときは将来像3で3番目だ
だったが、今回は将来像2になっている。子育て世代としては将来像1に来てほ
しいと思う。
- メ 「誰もが成長できるきよせ」は、生涯学習に関する施策が入っていることで「誰
もが」という言葉を使っていると思うが、生涯学習に関する施策を他の将来像に
れることで、将来像に「子ども」という言葉を入れることができるのではないかと
思う。
- モ 生涯学習は大人というよりも、子どもから大人まで繋がっていくという流れを考
えると、この将来像の中に含まれていて良いのではないかと思う。「子どもも大人
も」とすれば子どもの部分を謳っているような印象も残る。さらに子育ての支援
は主語が大人目線でもあり、主語が子どもも大人もある方が良いと思う。「子ども
も」が先にあることで子ども中心のような印象も残ると思う。
- ハ 子どもから学ぶことも多くあるので「ともに成長できる」で良いのではないかと
思う。「子ども」という言葉を入れるなら「子どもとともに成長できる」としても
良いのではないかと思った。
最後に、会長から追加の意見等あれば後日「ご意見シート」を提出するよう説明
があった。

(5) その他

事務局から、基本構想は今回出た意見を集約して次回6月の会議でご提示すること、
次回6月の会議では基本構想部分について検討いただくことを伝え、閉会となった。

